

各セクションの報告・情報

THE・現場

去る10月4日～6日の3日間、明治ホールディングス株式会社サステナビリティ(※)推進部主催のイベント「サステナDAYS 2023」に参加しました。

●「サステナDAYS」とは？

「身近なところからサステナブルを」というテーマで、「買う・見る・聞く・動く・食べる」といったさまざまな体験型コンテンツを通じて、一人でも多くの従業員にサステナビリティを身近に感じてもらうためのイベントです。明治グループ全従業員を対象に、今回が初開催となりました。

おかし屋ぱれっとは「買って応援」コンテンツの一つとして、焼菓子やぬいぐるみを従業員の皆様に販売しました。バングラデシュ・ネパールで貧困問題に取り組む国際協力NGOである「シャプラニール」さん、障がい者の自立と社会参加を目指すパン作りを続けて25年になる「スワンベーカリー」さんもご一緒でした。

●ポスターやTシャツにも

本イベントのロゴ、ポスタービジュアル、スタッフTシャツにはぱれっとメンバーが描いたシブヤフォントが採用されました。企画ご担当の方々が、打ち合わせでおかし屋ぱれっとの店舗にお越しになった際、そこに飾ってあったシブヤフォントのグッドデザイン賞の表彰状をご覧になり興味を持たれたことがきっかけです。工房ぱれっとメンバーが作った“らぶらび”の特徴を

おかし屋ぱれっと/工房ぱれっと

～「サステナブル」を身近に感じる3日間～

捉えて描いた「LOVE-RABI」(桶谷樹里さん作)、紙のパーツを重ねたような図形で構成された字体「ペーパークロシングフォント」(Sさん作)、工房メンバー共同制作の「モザイクフォント」が採用になりました。対面で会うことが制限され打ち合わせが全てオンラインで実施されていた時期には起こり得なかった偶然の出会いから、こうして実際に実を結ぶことになり感慨深いものがありました。



自分が描いた文字が採用されたポスターの前で

メンバーのSさんは「ポスターになったことがきっかけで販売会に来られた。最初は緊張した。だんだん慣れてきてお客さんがお菓子を見て色々話している所を見られて楽しかった」と教えてくれました。

●自分にもできること

明治グループでは、社内誌に「サステナ通信」というコーナーを設け継続的に情報発信をし、自然保護や環境美化等の活動にも全国各地で取り組んでこられました。おかし屋ぱれっとの一員として外へ出かけると、商品を買っていたいたり、寄付をしていただいたりと圧倒的に「支援してもらおう」ことが多いですが、本イベントを通じて自分も何かを「応援する」、未来のために「小さな行動をする」ことに意識を向けることができました。(たまい)

14

※サステナビリティ…持続可能性。「環境・社会・経済」の観点から、今後長期間にわたって地球環境を壊すことなく、資源も使い過ぎず、良好な経済活動を維持し続けることを意味する言葉。

たまり場ぱれっと

ビーバーファイターズ
10月14日(土) 練習再開!
皆さんも一緒に始めましょう!!

運動の秋、ティーボールの練習が再開されました。歳を重ねると、身体を動かして汗をかく、そういった機会がどんどん減っていきます。僕は、今年で43歳になりますが、男性は40歳から急激に衰えるらしいです。耳の痛い話ですが、衰えを防ぐには運動が一番いいとのこと。わかっちゃいるが、運動は続けるのが難しいんですよね。運動を続けるコツは誰かと一緒にやる事です。ティーボールなら老若男女問わず、誰でも簡単に始められます。初心者でも大丈夫です。監督のちょっと厳しめの指導をスパイスに、みんなでワイワイ楽しく運動できます。練習の後半は試合形式で行ないます。打ったり、走ったり、大きな声をだしたり、子どもの頃に返ったような楽しさがあります。興味のある方は、是非参加してみてください。(たまり場ぱれっとボランティア いわさき)

ぱれっとホーム

～ハロウィンパーティー～

10月31日はハロウィンということでホームもハロウィンパーティーをしました。いつもは前半と後半の2グループに分けての食事ですが、入居者みんなでテーブルを囲み食事をしました。ピザ2種類とチキンナゲット、フライドポテトに野菜スープという普段はあまりお目にかかれないメニューになり、皆さん嬉しそうに食べていました。入居者のIさんがオレオクッキーを提供してくれたので、デザートとして食べました。ハロウィンを楽しみにしていた入居者もいたので、皆さんが楽しんで食事が出来て良かったと思います。コロナも5類になったので、そろそろ全員での食事も増やしていきたいと思います。入居者の皆さんが楽しめるイベントを行なっていきたいと思います。(はぎわら)

ぱれっとインターナショナル・ジャパン

【速報】ケニア モヨ・チルドレン・センター ナイロビマラソン全員完走!

ケニアでストリートチルドレンの支援を続けるNGO「モヨ・チルドレン・センター」。今年5月にぱれっとで企画した活動報告会では、代表の佐藤南帆さんからとても有意義なお話を伺い、多くの方々から好評でした。そして10月29日、現地で恒例となるチャリティマラソンが開催され、子どもたちを含む参加者が、それぞれ設定した距離に挑戦、見事全員が完走したという嬉しい報告が送られてきました。ぱれっとでは関係者に声をかけ、この距離の1kmあたり1,000円の寄付を呼びかけて資金調達に協力、無事に目標額を達成し、送金しました。引き続き現地で子どもたちと奮闘する佐藤さんを始め、関係者の方々の今後の取り組みを見守っていききたいと思います。

(みなみやま)